９　危険度に応じた対応（緊急対応１～３）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 事件（不審者侵入） | 災害・全国瞬時警報システム（地震・弾道ミサイル等） |
| 緊急対応１ | 退去を求めても応じず、危害を加える恐れがある場合 | 震度3以上の地震発生、交通機関は運行  校区の河川氾濫警戒、校区で土砂災害発生  緊急地震速報（予報）、弾道ミサイル発射情報受信 等 |
| 緊急対応２ | 危害を加えるおそれが非常に高い場合 | 震度５弱以上の地震発生、交通機関は運行を維持（乱れている）、校区の河川氾濫、台風などの警報が発令  緊急地震速報（警報）、弾道ミサイル日本に落下する可能性あり 等 |
| 緊急対応３ | 危害が及んでしまった場合 | 震度６弱以上の地震発生、校区で広域的な火災発生  交通機関が不通、原子力災害発生、緊急地震速報（特別警報）、弾道ミサイル日本に落下　等 |

※　地震が発生した際は各教室で一次避難の指示をする。

※　集団下校をする際、教職員は地域の役割分担に基づいて引率または校区の巡回を行う。

　　（緊急対応１、場合によっては２）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 緊急対応１ | |
|  | 事件（不審者侵入）・災害（地震）発生  緊急地震速報（予報）・弾道ミサイル発射情報の受信 | 事件（不審者の確保）・災害（地震による揺れ）収束  避難解除 |
| 対策本部チーム | ○　状況の変化に対応できるような統括と指揮  ○　校長（教頭） １１０番通報の指示  ○　校内緊急放送で緊急対応１であることを全教職員、児童に連絡（暗号、決めた文例を使用）  ○　児童の避難の必要性の判断と指示  ○　不審者逃亡の場合、近隣校への連絡を教育委員会に要請  ○　全国瞬時警報システムは地震や弾道ミサイル等、要因を確認するとともに情報の収集に努める。（テレビ、ラジオ、インターネット、防災無線等） | ○　警察、消防、教育委員会等への状況報告  ○　保護者（ＰＴＡ本部役員等）への連絡  ○　当日の授業継続、下校方法等の決定  ○　今後の登下校方法・授業についての決定  ○　保護者説明会の準備と開催  ○　保護者あて連絡文書の作成  ○　近隣学校への情報提供（必要に応じて）  ○　報道機関へ |
| 不審者・災害対応チーム | ○　不審者を落ち着かせるよう丁寧な対応  ○　不審者の言動に注意  ○　隔離できる場所へ連れて行く努力  ○　所持品（凶器等危険物）の確認の努力  ○　不審者との距離の確保(1.5m以上）  ○　警察が到着するまで児童に危害が及ばないよう配慮 | ○　校内を巡回し、他の不審者の有無の確認  ○　逃げ遅れた児童や負傷者の有無の確認  ○　児童の安全確保の応援  ○　事件の情報収集、把握、整理  ○　学校や地域の状況の把握 |
|  | ○　余震の可能性も考慮して対応  ○　校内巡回し、被害の状況を確認  ○　校区内の安全を確認 |
| 児童対応チーム | ○　児童の人員確認と安全確保  ○　教室で待機、避難についての放送等の指示を 待つ。  ○　緊急地震速報（予報）、弾道ミサイル発射情報受信は、状況を把握、安全な場所を判断して避難、姿勢を低くして頭部を守る。  ○　児童の安全確保確認後、可能な範囲で不審者対応の応援体制を編成 | ○　下校方法決定後、全保護者と連絡をとり、児童の安全下校を確認  ○ 保護者あて連絡文書を児童へ配布 |
| 救助チーム |  | ○　校内巡回し、負傷者の有無を確認  ○　校内の状況把握と報告 |
| 救護チーム |  | ○　負傷者の応急手当 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 緊急対応２ | |
| 対策本部チーム | 対応１に加えて  ○　校内緊急放送で緊急対応２であることを全教職員、児童に連絡  （暗号、決めた文例を使用） | 対応１に同じ |
| 不審者・災害対応チーム | 対応１に加えて  ○　危険を周知  （笛、大声、大きな音、火災報知器）  ○　不審者の移動を阻止する努力  ○　攻撃に備え防御できる身近な道具の活用  （ほうき、いす、机、消火器、ものさし等）  ○　近くに児童がいる場合は逃げるように指示  ○　児童から注意をそらさせ、不審者を児童に近づけない努力  ○　児童が捕らわれている場合は、不審者を説得 | 対応1に同じ |
| ○ 二次避難（学校内）後、場合により安全な避難場所へ避難 | ○　二次的な災害の予測  ○　下校判断（学校待機か一斉下校か等）  ○　保護者へ連絡 |
| 児童対応チーム | 対応１に加えて  ○　避難場所、経路の決定、避難  ○　避難後の児童の人員確認と負傷状況等の確　　　　認 | 対応１に加えて  ○　緊急下校または、学校待機の準備 |
| ○ 二次避難（学校内）後、場合により安全な避難場所へ避難 | 対応１に加えて  ○　緊急下校または、学校待機の準備 |
| 救助チーム |  | 対応１に加えて  ○　校内を巡回し、避難できていない児童・教職員の確認及び不明児童・教職員の捜索  ○　校内巡回し、被災箇所の有無を点検 |
| 救護チーム | ○　準備した救急用品、負傷者搬送時の学校との連絡方法を確保して避難場所、負傷者発生現場へ急行（お金、携帯電話、緊急連絡網等）  ○　負傷状況の確認と応急手当  ○　救急車要請の判断 | 対応1に同じ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 緊急対応３ | |
| 対策本部チーム | 対応１に加えて  ○　校内緊急放送で緊急対応３であることを全教職員、児童に連絡  （暗号、決めた文例を使用）  ○　負傷者対応の要請で救急車手配（119番） | 対応１に同じ |
| 不審者・災害対応チーム | 対応１、２に加えて | 対応1に同じ |
| ○　一次避難後、より安全な避難場所へ避難 | 対応２に加えて  避難所としての初期対応 |
| 児童対応チーム | 対応１、２に同じ  ○　避難場所、経路の決定、避難  ○　避難後の児童の人員確認と負傷状況等の確　　認 | 対応２に加えて  ○　二次避難、三次避難場所での児童の健康観察 |
| 救助チーム |  | 対応２に同じ |
| 救護チーム | 対応２に加えて  ○　負傷者発生現場へ急行  ○ 負傷者の応急手当、搬送準備、 救急車手配の要請  ○　負傷者氏名等の確認とリスト作成  ○ 救急車同乗と搬送先からの連絡 | 対応1に加えて  ○　負傷児童と保護者等への対応  ○　心のケア |